

地方公務員共済

令和6年度第2四半期

退職等年金給付積立金 管理及び運用実績の状況



地方公務員共済組合連合会

Pension Fund Association for Local Government Officials

令和6年度第2四半期 運用実績(概要)

運用利回り
(第2四半期)

+0.14% ※実現収益率(簿価)

運用収入額
(第2四半期)

+35億円 ※実現収益額(簿価)

運用資産残高
(第2四半期末)

2兆5,189億円 ※簿価

年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。
退職等年金給付積立金は、国内債券の満期持ち切りでの運用を前提とするため、簿価評価としています。

(注1)運用利回り及び運用収入額は、運用手数料等控除後のものです。

(注2)実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

(注3)上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

令和6年度第2四半期 市場環境①

【各市場の動き（令和6年7月～9月）】

- 国内債券：10年国債利回りは低下しました。日銀が7月に国債買入れの具体的な減額方針と追加利上げを決定しましたが、市場の反応は鈍く、内外株式の下落等を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まる中で低下（債券価格は上昇）しました。
- 国内株式：国内株式は下落しました。TOPIXは7月上旬に史上最高値を更新しましたが、その後は米国の景気後退懸念や大幅な円高の進行、国内政治情勢への不透明感などを要因に下落しました。
- 外国債券：米国10年国債利回りは低下しました。インフレ率や雇用の鈍化がみられる中、米国連邦準備制度理事会（FRB）による大幅利下げ観測の強まりを背景に低下（債券価格は上昇）しました。
- 外国株式：外国株式は上昇しました。米国の景気後退懸念から大幅下落する場面もみられましたが、FRBの利下げ転換に伴う米国経済のソフトランディング期待から上昇し、NYダウは最高値を更新しました。
- 外国為替：ドル円は、FRBの利下げ転換が見込まれる中で、日銀が市場予想に反して利上げを決定したことで一時大幅に円高が進むなど、金融政策の方向性の違いから円高基調で推移しました。ユーロ円は、概ねドル円に連動した動きとなり、欧州中央銀行（ECB）の追加利下げなどを受け円高基調で推移しました。

【ベンチマーク収益率】

	R6年7月～9月
国内債券 NOMURA-BPI 総合	1.35%
国内株式 TOPIX（配当込み）	▲4.90%
外国債券 FTSE世界国債インデックス （除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース）	▲5.47%
外国株式 MSCI ACWI （除く日本、円ベース、配当込み）	▲5.07%

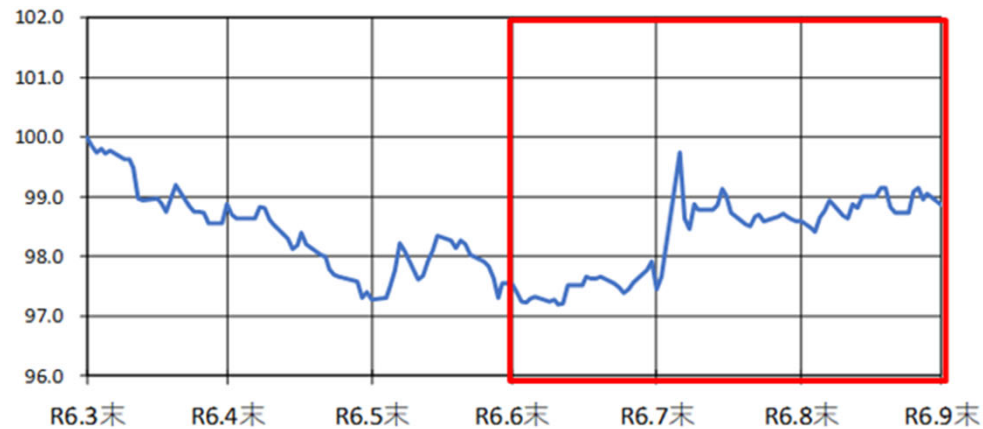
【参考指標】

		R6年6月末	R6年7月末	R6年8月末	R6年9月末
国内債券	（10年国債利回り）（%）	1.06	1.06	0.90	0.86
国内株式	（TOPIX配当なし）（ポイント）	2,809.63	2,794.26	2,712.63	2,645.94
	（日経平均株価）（円）	39,583.08	39,101.82	38,647.75	37,919.55
外国債券	（米国10年国債利回り）（%）	4.40	4.03	3.90	3.78
	（ドイツ10年国債利回り）（%）	2.50	2.30	2.30	2.12
外国株式	（NYダウ）（ドル）	39,118.86	40,842.79	41,563.08	42,330.15
	（ドイツDAX）（ポイント）	18,235.45	18,508.65	18,906.92	19,324.93
外国為替	（ドル／円）（円）	160.86	150.46	145.61	143.04
	（ユーロ／円）（円）	172.40	162.81	161.17	159.64

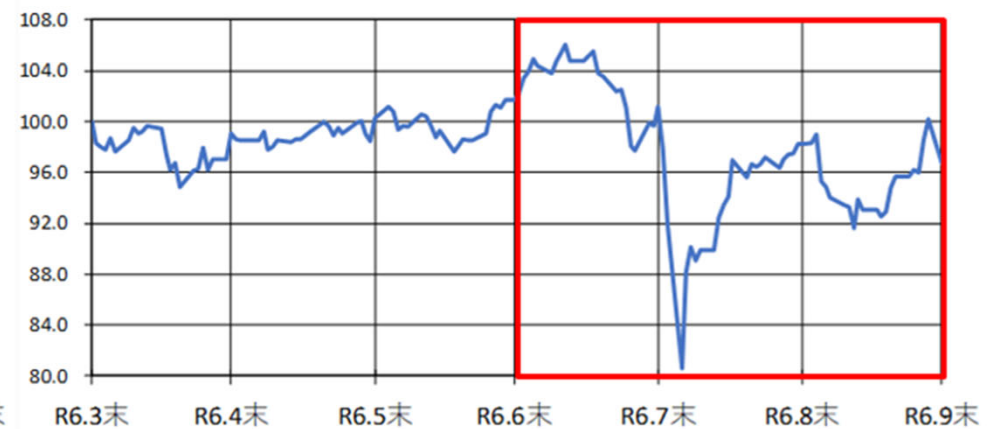
令和6年度第2四半期 市場環境②

ベンチマークインデックスの推移

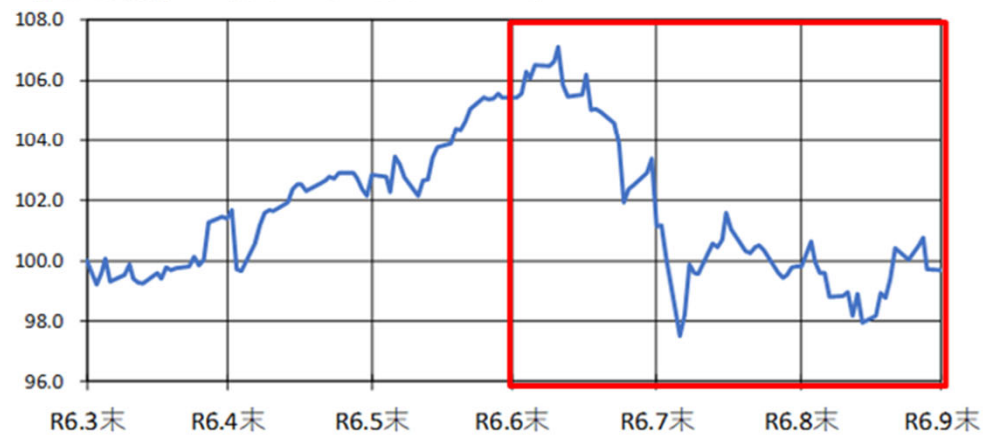
【国内債券】 (令和6年3月末 = 100)



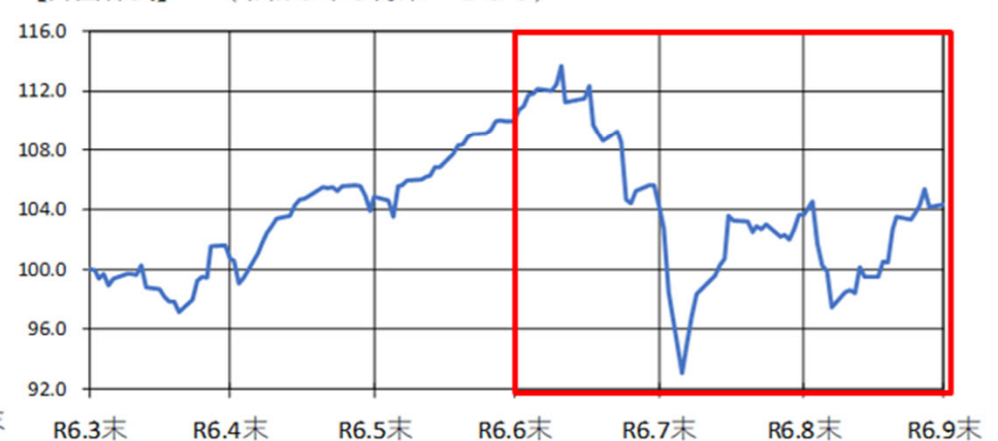
【国内株式】 (令和6年3月末 = 100)



【外国債券】 (令和6年3月末 = 100)



【外国株式】 (令和6年3月末 = 100)



令和6年度 資産構成割合

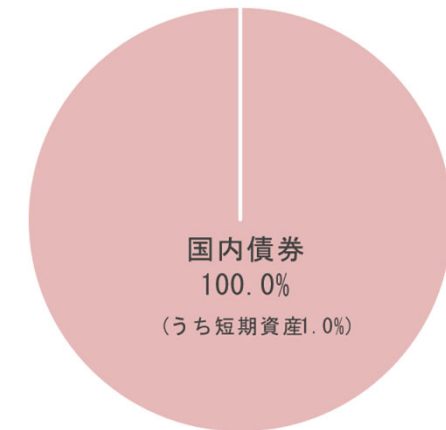
第2四半期末 運用資産別の構成割合

(単位：%)

	令和5年度末	令和6年度				基本 ポートフォリオ
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	
国内債券	100.0	100.0	100.0	—	—	100.0
うち短期資産	(1.1)	(1.8)	(1.0)	—	—	
合計	100.0	100.0	100.0	—	—	100.0

(注1) 貸付金・投資不動産については、国内債券に含めています。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

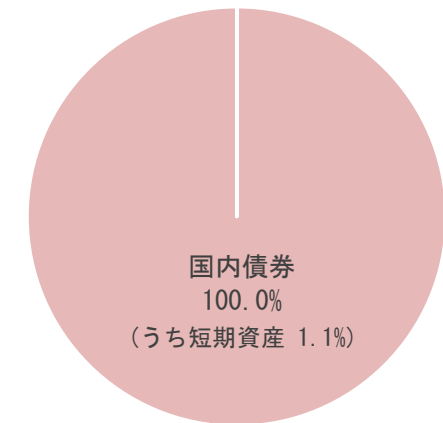


(参考)令和5年度 資産構成割合

令和5年度末 運用資産別の構成割合

(単位：%)

	令和4年度末	令和5年度				基本 ポートフォリオ
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	
国内債券	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
うち短期資産	(1.3)	(2.0)	(1.3)	(1.7)	(1.1)	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



令和6年度 運用利回り

○令和6年度第2四半期の実現収益率（簿価）は、0.14%となりました。
 ○退職等年金給付積立金で保有する国内債券は、満期持ち切りを前提とするため、簿価評価としています。

（単位：％）

	令和6年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率（簿価）	0.13	0.14	—	—	0.27
国内債券	0.13	0.14	—	—	0.27
うち短期資産	(0.00)	(0.01)	—	—	(0.01)

（参考）

（単位：％）

	令和6年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	▲2.66	1.67	—	—	▲0.96

（注1）各四半期及び年度計の運用利回りは、期間率であり、運用手数料等控除後のものです。

（注2）修正総合収益率は、実現収益率（簿価）に、仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。

（注3）上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考)令和5年度 運用利回り

(単位：%)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率(簿価)	0.11	0.12	0.12	0.13	0.48
国内債券	0.11	0.12	0.12	0.13	0.48
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	0.81	▲3.28	1.09	▲0.25	▲1.67

令和6年度 運用収入額

- 令和6年度第2四半期の実現収益額(簿価)は、35億円となりました。
 ○退職等年金給付積立金で保有する国内債券は、満期持ち切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：億円)

	令和6年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額(簿価)	32	35	—	—	66
国内債券	32	35	—	—	66
うち短期資産	(0)	(0)	—	—	(0)

(参考)

(単位：億円)

	令和6年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額(時価)	▲607	385	—	—	▲223

(注1) 実現収益額(簿価)は、売買損益及び利息収入等であり、運用手数料等控除後のものです。

(注2) 総合収益額(時価)は、実現収益額(簿価)に、仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものであり、運用手数料等控除後のものです。

(注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考)令和5年度 運用収入額

(単位：億円)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額（簿価）	24	25	28	29	106
国内債券	24	25	28	29	106
うち短期資産	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(参考)

(単位：億円)

	令和5年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額（時価）	166	▲701	232	▲56	▲359

令和6年度 資産額

(単位：億円)

	令和5年度末			令和6年度											
				第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	23,729	22,517	▲1,212	24,416	22,597	▲1,819	25,189	23,695	▲1,494	—	—	—	—	—	—
うち短期資産	(263)	(263)	(0)	(439)	(439)	(0)	(252)	(252)	(0)	—	—	—	—	—	—
合計	23,729	22,517	▲1,212	24,416	22,597	▲1,819	25,189	23,695	▲1,494	—	—	—	—	—	—

(注1)時価及び評価損益は、仮に時価評価を行った場合の参考です。

(注2)貸付金・投資不動産については、国内債券に含めています。

(注3)上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和5年度 資産額

(単位：億円)

	令和4年度末			令和5年度											
				第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	20,929	20,182	▲747	21,524	20,943	▲581	22,230	20,904	▲1,326	22,952	21,854	▲1,098	23,729	22,517	▲1,212
うち短期資産	(274)	(274)	(0)	(436)	(436)	(0)	(282)	(282)	(0)	(400)	(400)	(0)	(263)	(263)	(0)
合計	20,929	20,182	▲747	21,524	20,943	▲581	22,230	20,904	▲1,326	22,952	21,854	▲1,098	23,729	22,517	▲1,212

用語解説(50音順)

○ 実現収益率

売買損益及び利息・配当金収入等の実現収益額を元本(簿価)平均残高で除した元本(簿価)ベースの収益率です。

○ 修正総合収益率

実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加え、時価に基づく収益を把握し、それを元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。

算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。

(計算式)

$$\begin{aligned} \text{修正総合収益率} = & \{ \text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減(当期末未収収益} - \text{前期末未収収益)} \\ & + \text{評価損益増減(当期末評価損益} - \text{前期末評価損益)} \} \div (\text{元本(簿価)平均残高} \\ & + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益}) \end{aligned}$$

○ 総合収益額

実現収益額に加え資産の時価評価による評価損益を加味した、時価に基づく収益額です。

$$\begin{aligned} \text{(計算式) 総合収益額} = & \text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減(当期末未収収益} - \text{前期末未収収益)} \\ & + \text{評価損益増減(当期末評価損益} - \text{前期末評価損益)} \end{aligned}$$

○ 退職等年金給付積立金

被用者年金一元化後、組合等が退職等年金給付のため積立を開始し、管理運用している退職等年金給付組合積立金と、地共連が組合等の退職等年金給付のための資金が不足した場合に必要な額を交付するためなどに積み立てている退職等年金給付調整積立金を合わせたものです。